

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

（市町村名：木津川市）

タイトル 【配食サービス事業】 住み慣れた地域で安心して生活できる支援体制の充実

現状と課題

本市では、配食サービス事業として、食事の調理や買い物が困難で栄養不足となるおそれのある在宅の高齢者等に対し、安否確認を兼ねて週に一度、夕食時にお弁当を届けています。お弁当の調理・配達にはボランティアにより行われていますが、ボランティアの高齢化もあり、担い手不足や新たな担い手の確保が課題となっています。

第8期における具体的な取組

在宅の高齢者世帯等に定期的に食事を提供し、高齢者の健康増進を図るとともに安否確認を行うなど、自立した生活の支援と見守りを実施。

目標（事業内容、指標等）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
配食サービス利用者数	890人	960人	1,030人

目標の評価方法

- 時点
  - 中間見直しあり
  - 実績評価のみ

● 評価の方法

配食サービス利用者数をカウント

評価区分	◎	数値目標に掲げている指標の実績が、目標+100人以上
	○	数値目標に掲げている指標の実績が、目標+99人以内
	△	数値目標に掲げている指標の実績が、目標未達

## 取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：木津川市）

年度	令和5年度
----	-------

### 実施内容

- ・配食サービス提供（延べ食数 R5:15,769 食）及び各月の利用者数の確認。
- ・市社協広報誌へのボランティア募集記事掲載及び公共施設へのボランティア募集チラシの配架。
- ・ボランティアに興味のある方に参加いただけるボランティア体験会等の取組を行う。
- ・ボランティアの増員について、地域支え合い会議を通じて、比較的若い現役引退者へのアプローチや、男性に対する調理ボランティアへの参加等の取組などを検討した。

### 自己評価結果

#### 【◎】

- ・令和5年度の配食サービス利用者数は、前年度比+120人、年度目標を211人上回った。
- ・令和5年度の調理ボランティア数は、前年度比△13人、配達ボランティア数は+1人であった。マスク着用・消毒の徹底など感染対策に努めながら継続実施しているが、年々配食数が増加傾向にあり、ボランティアの人数としては、余裕がない状況にある。
- ・高齢となり、ボランティアを辞めた方がおられた。

実 績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
配食サービス利用者数	1,060人	1,121人	1,241人
調理ボランティア数	99人	113人	100人
配達ボランティア数	150人	158人	159人

### 課題と対応策

#### 【課題】

- ・現ボランティアの継続、また新規ボランティア（特に調理ボランティア）の増加が必要である。70歳までの元気な高齢者の参加も必要である。

#### 【対応策】

- ・市広報誌等にボランティア募集記事掲載、公共施設にボランティア募集チラシ配架等、広くボランティア募集を行う。
- ・市広報等でボランティアの活動を周知することで、ボランティアのモチベーション維持・向上を図る。
- ・ボランティアに興味のある方に参加いただけるボランティア体験会等の取組を行う。
- ・男性の調理ボランティアへの参加促進の取組（料理教室）などを実施し、幅広くボランティアを募集できるような取組を行う。